

UNAIDS プレスリリース

2020 年ターゲットは成果の不平等により達成困難 世界のエイズ流行に関する UNAIDS 報告；COVID-19 のリスクが HIV の成果を吹き飛ばそうとしている

ターゲットが達成できないことで 2015 年以降 2020 年までの新規 HIV 感染者数は、350 万人増え、エイズ関連の死者は 82 万人増加。COVID-19 パンデミックで今後、HIV サービスの継続が厳しくなれば、対策は 10 年以上、後戻りすることになる

ジュネーブ 2020 年 7 月 6 日ー 国連合同エイズ計画（UNAIDS）の新たな報告書は、これまでの対策の成果、とりわけ抗レトロウイルス療法のアkses拡大の成果について、「目覚ましくはあるが、極めて不平等な結果に終わっている」と指摘しています。各国間および各国の国内で、成果が平等に分かち合えなかったことから、2020 年を目標年とする世界的 HIV 対策ターゲットの達成は期待できなくなりました。報告書『この機会をつかむ』は、それでも私たちがいま行動しなければ、これまでの成果すら失われ、さらに失速していくことになると警告しています。報告書は事態が切迫していることを強調し、これまでの努力を倍賭けにし、いまなお取り残されたままの何百万という人たちに支援が届くよう緊急に行動することを各国に求めています。

「世界を 2030 年のエイズ流行終結という軌道に戻すために、これからの 10 年は日々、決然とした行動が求められています」と UNAIDS のウィニー・ピヤニマ事務局長は語っています。「何百万という人の命が救われてきました。とりわけアフリカの女性たちの命が救われてきたのです。多数の人の努力によって達成された成果は、さらにすべての国のすべてのコミュニティで共有できるようにする必要があります。スティグマと差別、そして広い範囲にわたる不平等が、エイズ終結の大きな障壁になっています。各国はエビデンスを受け入れ、人権尊重の責務を果たす必要があります」

14 カ国が 90-90-90 HIV 治療ターゲット（HIV 陽性者の 90%が自らの感染を知り、そのうちの 90%が抗レトロウイルス治療を開始し、さらにそのうちの 90%が体内のウイルス量を低く抑えた状態を保つ）を達成しています。なかでもエスワティニ（注：旧スワジランド）は 2019 年の HIV 陽性率が 27%と最も高い国でしたが、現在はターゲットの数値が 95-95-95 を超えています。

抗レトロウイルス治療の普及が何百万という人の命を守り、新規感染を防いでいます。それでも、昨年は年間で 69 万人がエイズ関連の疾病で亡くなり、世界全体で 3800 万人の HIV 陽性者のうち、1260 万人は治療で命が救われるのに、その治療を受けられずにいます。

「現在の成果に満足はできないし、挫折に落胆してもいられません。誰も取り残されないようにしなければならない。ギャップを埋める必要があります。100-100-100 を目指しましょう」とエスワティニのアンプロセ・ドワミニシュは力説しています。

HIV 新規感染の予防で、世界は大きく後れを取っています。年間で約 170 万人が新規に HIV に感染しているのです。世界のターゲットの 3 倍を超えています。ただし、東部・南部アフリカでは成果があがり、2010 年当時と比べると 38%の減少となっています。

それとは対照的なのが東ヨーロッパ・中央アジアで、新規感染は 2010 年当時と比べ 72% も増加しています。驚くべき状態です。中東・北アフリカでも 22%増、ラテンアメリカでは 21%増となっています。

『この機会をつかむ』は成果の不平等も報告しています。社会的に弱い立場の人びとの多くが取り残されているのです。ゲイ男性など男性とセックスをする男性、セックスワーカー、注射薬物使用者、受刑者などのキーポピュレーションとそのパートナーといった人たちは、全人口に占める割合は極めて小さいのに、新規 HIV 感染では全体の 62%を占めています。

スティグマと差別が、他の社会的な不平等や排斥行為とともに、大きな障壁として立ちまわっています。疎外された人口集団は、批判や暴力、逮捕などを恐れつつ、性と生殖に関する健康サービス、とりわけ避妊や HIV 予防のサービスへのアクセスを求めて闘わなければなりません。HIV 陽性者に対するスティグマはいまなお、どこでもみることができます。少なくとも 82 カ国で、何らかのかたちの HIV 感染や HIV の曝露、感染非開示が犯罪とみなされています。セックスワークは少なくとも 103 カ国で犯罪とされ、108 カ国では個人使用の目的の薬物所持および使用が犯罪とされています。

HIV 感染の影響を最も大きく受けるのは、サハラ以南のアフリカの女性と女兒です。2019 年には地域内の HIV 感染の 59%を占めていました。15 歳から 24 歳までの少女・若い女性は毎週 4500 人も HIV に感染しているのです。人口全体に占める若い女性の割合は 10%なのに、2019 年の新規 HIV 感染者の 24%を占めていました。

しかし、HIV サービスが包括的に提供されているところでは、感染のレベルは大きく低下しています。エスワティニ、レソト、南アフリカでは、若い女性に対する社会・経済的な支援、届きにくかった人口集団における治療の普及とその成果としての体内ウイルス量の抑制などを含む包括的な予防の選択肢が示され、不平等の格差が縮小するとともに新規 HIV 感染の発生率も低下しました。

COVID-19 のパンデミックはエイズ対策に深刻な影響を与え、さらに大きな混乱をもたらす可能性があります。HIV 治療が 6 カ月間、完全に止まることになれば、次の 1 年間（2020-2021 年）にエイズ関連の疾病で亡くなる人は、サハラ以南のアフリカだけでこれまでより 50 万人も増える恐れがあります。この地域の死亡率は 2008 年のレベルに戻ってしまうのです。中断が 20%に抑えられたとしても、亡くなる人は 11 万人も増えることとなります。

「私たちは HIV に感染して生き延び、生存と治療とケアへのアクセスを求めて闘ってきました。大変な努力で勝ち取ったその成果を失うわけにはいきません。ラテンアメリカのいくつかの国では、HIV の資金と治療薬と医療スタッフと設備が COVID-19 との闘いに移されています」とボリビア HIV 陽性者ネットワークのグラシア・ヴィオレッタ・ロス代表は語っています。「しかも、意味のあるかたちでの当事者の参加や説明責任を果たすことの重要性といった HIV からの貴重な教訓と実践の経験は無視されています。私たちは HIV が取り残されてしまうのを認めるわけにはいきません」

HIV と COVID-19 の 2 つのパンデミック対策が衝突する事態を避けるために、UNAIDS とそのパートナーは、人びとのための COVID-19 ワクチンの開発を求める世界の要求の先頭に立っています。その運動には 150 人を超える世界の指導者、専門家が署名をし、すべてのワクチン、治療、検査が、特許の制約を受けることなく、大量に生産し、すべての人に無料で公平に提供できるようにすることを求めています。

UNAIDS はまた、HIV/エイズと COVID-19 の 2 つの疾病対策への投資をともに増やすよう各国に求めています。2019 年の HIV 対策資金は 2017 年より 7%減少し、年間 186 億ドルでした。この結果、HIV に効果的に対応するため 2020 年に必要とされる年間 262 億ドルと比べると、30%も不足している状態でした。

「貧しい国は列の後ろに並べ！というようなことはできません。資金や肌の色で致命的な病気から守られるかどうかが決まるようなことがあってはならないのです」とビヤニマ事務局長はいう。「一つの疾病の治療のために他の疾病の治療に必要なお金を拝借するようなことはできません。大量の人びとが亡くなっていくのを座視せず、その死を避けようとするなら、HIV に対しても COVID-19 に対してもともに、必要な資金の手当てをしっかりとしなければなりません」

Contact

UNAIDS Geneva | Sophie Barton-Knott | tel. +41 22 791 1697 / +41 79 514 6896 | bartonknotts@unaid.org

UNAIDS Media | tel. +41 22 791 4237 | communications@unaid.org

UNAIDS

The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS (UNAIDS) leads and inspires the world to achieve its shared vision of zero new HIV infections, zero discrimination and zero AIDS-related deaths. UNAIDS unites the efforts of 11 UN organizations—UNHCR, UNICEF, WFP, UNDP, UNFPA, UNODC, UN Women, ILO, UNESCO, WHO and the World Bank—and works closely with global and national partners towards ending the AIDS epidemic by 2030 as part of the Sustainable Development Goals. Learn more at unaid.org and connect with us on Facebook, Twitter, Instagram and YouTube.